

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
黒船賞	2019/3/21	JpnIII	高知	1400m	ハイペース	不良	コース適性、展開

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	ヤマニンアンプリメ	牝5	54	鮫島良	シニスターミニスター	ナスルーラ系	サンデーサイレンス	サンデー系	B	D	B	B	B	B	△1	
2	2	テーオーヘリオス	牡7	57	浜中	Fusaishi Pgasus	ミスプロ系	Afternoon Deelites	ダマスカス系	B	B	B	B	B	B	△2	
3	3	サクセスエナジー	牡5	58	松山	キンシャサノキセキ	サンデー系	ジャングルポケット	ナスルーラ系	B	B	A	B	B	B	○	
4	4	ミサイルマン	セ5	56	倉兼	カネヒキリ	サンデー系	クロフネ	ノーザン系	D	B	B	C	C	C		
5	5	キングズガード	牡8	57	藤岡祐	シニスターミニスター	ナスルーラ系	キングヘイロー	ノーザン系	A	B	A	B	A	B	◎	
	6	グレナディアーズ	牡8	56	永森	ネオユニヴァース	サンデー系	フレンチデピュティ	ノーザン系	D	A	C	C	C	C		
6	7	サクラレグナム	牡10	56	赤岡	サクラプレジデント	サンデー系	ブライアンスタイル	ロベルト系	C	A	A	B	B	B	△3	
	8	クレセントシティー	牡4	56	瀧川	トビーズコーナー	ノーザン系	アグネスタキオン	サンデー系	D	B	C	C	C	C		
7	9	キクノステラ	牡7	56	岡部	エンパイアメーカー	ミスプロ系	アグネスタキオン	サンデー系	C	B	B	B	B	B	×2	
	10	エイシバランサー	牡7	57	下原	Ghostzapper	ノーザン系	Mizzen Mast	ナスルーラ系	C	A	B	C	B	B	×1	
8	11	サイタスリーレッド	牡6	57	池添	ダノンシャンティ	サンデー系	Slat Lake	ミスプロ系	B	B	B	B	B	B	▲	
	12	ストーミーワンダー	牡5	56	水野	ストーミングホーム	ミスプロ系	ワイルドラッシュ	アイスカベイト系	出走取消							

隊列図	見解	ラップタイム
サイタ クレセ サクセ エイシ テーオ サクラ ヤマニ キクノ キング グレナ ミサイ	<p>黒船賞はリピーター色が強いレース。過去5年の黒船賞3着以内馬を振り返ると、2回以上好走している馬が目につく。地方ダートグレードは毎回同じようなメンバーで行われるというのがあるが、高知1400mなどの小回りダート1400mは適性の差が出やすいので、リピーターが生まれやすいのだろう。今年の黒船賞もコース適性の差が明暗を分けるレースになりそうだ。それでは予想にいきましょう。</p> <p>本命は今年もキングズガードに期待したい。高知や園田などのコーナー4回のダート1400mは、向上面からのロングスパート戦になることが多く、追われてしっかりと伸びるかが重要になるコース。かつてはドリームバレンチノが同条件で無類の強さを見せ、本馬もそのドリームバレンチノを彷彿とさせるような馬。レースセンスがないため、多頭数のJRAでは取りこぼしがあるものの、実質少頭数競馬になりやすい地方では17年黒船賞2着、17年南部杯3着、18年黒船賞2着、18年かきつばた記念2着と一度も崩れていない。</p>	

ハイペース

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	ヤマニンアンプリメ	△1	キングズガードと同じシニスターミニスター産駒で追って味があるのがウリ。コーナー4回のダート1400mは合うイメージがある。		
2	2	テーオーヘリオス	△2	北海道スプリントカップ勝利以降、結果が出ていないものの、東京盃は休み明け、JBCスプリントとオータムリーフステークスは16頭立ての15番ゲートが響いた感じ。近3走に関しては言い訳の利く敗戦でもあり、まだ見限る必要はないだろう。		
3	3	サクセスエナジー	○	高知1400mの経験こそないものの、コーナー4回のダート1400mでは18年かきつばた記念1着、18年さきたま杯1着、18年兵庫ゴールドトロフィー2着と連対率100%を継続中。行き切ってもOK、控えてもOKなので、不発が少ないタイプなのだろう。		
4	4	ミサイルマン		高知に移籍して2歳時の輝きを取り戻しているが、相手関係に恵まれたのも事実。前走走るまで日賞で下した相手も決して強くない。別定のダートグレードでは荷が重いだろう。		
5	5	キングズガード	◎	高知や園田などのコーナー4回のダート1400mは、向上面からのロングスパート戦になることが多く、追われてしっかりと伸びるかが重要になるコース。かつてはドリームバレンチノが同条件で無類の強さを見せ、本馬もそのドリームバレンチノを彷彿とさせるような馬。堅実駆けだろう。		
	6	グレナディアーズ		3走前の黒潮スプリンターズカップではサクレグナム、エイシンバランサーに完敗の4着。ダートグレードでは荷が重い。		
6	7	サクラレグナム	△3	高知1300~1400mで4戦4勝。前走黒潮スプリンターズカップではエイシンバランサーを下しており、この条件ならダートグレードでも楽しみはありそう。ただ3走前の兵庫ゴールドトロフィーでは52キロの軽量を背負いながら4着敗退。別定の56キロはやや苦しいか。		
	8	クレセントシティー		長期休養明け後、初夢賞1着、スプリングタイム賞3着と好走しているが、南関東B1での話。別定のダートグレードでは荷が重いだろう。		
7	9	キクノステラ	×2	狙い時は2走前の兵庫ゴールドトロフィー3着時だった気はするが、バテずに長くいい脚を使えるタイプで、いかにもコーナー4回のダート1400m向き。あくまでもハマリ待ちの立場ではあるが、JRAの逃げ、先行勢が何頭か失速してくれば、本馬にも馬券圏内に加わるチャンスが巡ってきそうだ。		
	10	エイシンバランサー	×1	昨年のサマーチャンピオン勝ち馬。その後はいまひとつの結果が続いているが、2走前の兵庫ゴールドトロフィーでは馬体重増が響いた感じ。3走前の笠松グランプリでは、サクラレグナムやラブバレットらに完勝。能力通りなら通用しても驚けない。		
8	11	サイタスリーレッド	▲	2走前のジャン્યアリーステークスは逃げられず、前走シルクロードステークスは実績のない芝で参考外。行き切れば、とにかくしぶとい。コーナー4回のダート1400mでは【1.0.1.0】(17年オーパレスプリント1着、17年兵庫ゴールドトロフィー3着)と複勝率100%。		
	12	ストームワンダー		出走取消		